

ボルネオの森のきのこと昆虫

ボルネオの森のきのこと昆虫

ボルネオ島北部で
撮影されたきのこ

上段

オオミノコフキタケと
ントウムシダマシ科コウ
チュウ

下段

左, ミナミレンガタケ

中上, アラゲウスベニコッ
プタケ属の一種

中下, ツヤジョウゴタケ

右上, *Spongiforma*
squarepantsii

右下, コマタケ



熱帯雨林には色々な珍しい生き物が生息する森というイメージがあるかと思います。そこに生息するきのこ、きのこを利用する昆虫の関係について紹介します。

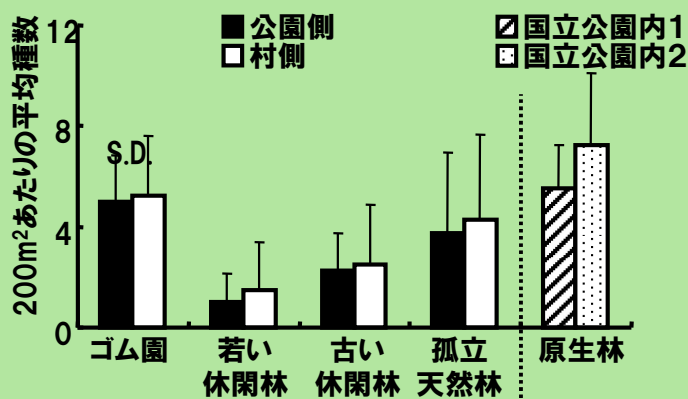
講師： 山下 聡(生物多様性・気候変動研究拠点)

ボルネオの森のきのこ昆虫

ボルネオにはフタバガキ林に限らず、様々な森林が広がっています。そこでは森林タイプに応じたきのこがみられますが、きのこにも、きのこを食べる昆虫にも未知の種が多く残されています。そのような状況で、少しずつ明らかになってきたことをご紹介します。

- 多孔菌類の多様性は原生林で高かった。
- 枯死木が多いと多孔菌類の多様性も高かった

(多孔菌類：サルノコシカケ型のきのこの総称です)



若い休閑林



原生林

- フタバガキ林と熱帯ヒース林、マングローブ林と湿地林、石灰岩地林と河畔林の間では多孔菌類相が似ていた
- 一部の植生に特異的なきのこも見られた。

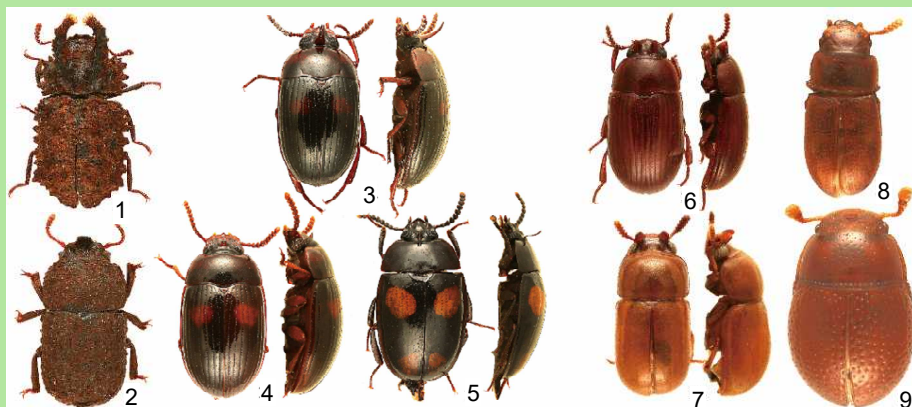


マングローブ林とマングローブ林特異的なキノコ的一种
Ganoderma ochrolaccatum



湿地林と湿地林やマングローブ林におかった
Pycnoporus sanguineus

- サラワク州内9カ所の森林において、マンネンタケ属のきのこからゴミムシダマシ科昆虫を採集したところ、全ての調査地で、少なくとも1種の新種が認められた。



1. *Boletoxenus persimilis*
2. *Bolitonaeus grimmii*
3. *Basides rhinoceros*
4. *Basides ornatimarginatus*
5. *Basides nakashizukai*
6. *Neomida sarawakensis*
7. *Pentaphyllus lambirensis*
8. *Menimus (Menimus) sphaericus*
9. *Menimus (Menimus) pygmaeus*

2022年に新種として記載されたゴミムシダマシ科9種